

地域別環境懇談会 〔小見川〕 地区

日 時	平成25年 9月18日(木) 19時から20時50分
場 所	小見川市民センター 3階小ホール
出 席 者	大友課長、宮崎支所長、高木班長、鈴木副主幹、並木主査、大平主事 (参加者54人)

1) 地域で残しておきたい自然、改善したい環境について

○ 地域で残しておきたい自然

- 清水川上流の大清水
- オオセッカの生息する利根川河川敷のヨシ原を鳥獣保護区として検討してほしい。

○ 改善したい環境について

- 上小堀地区山田養鶏場付近の古タイヤの不法投棄について  
⇒行為者が特定されている案件であり、県が行為者へ改善させているところである。
- 油田地区44号線沿いにて小幡建材が2つ進入路を作っている。今後、ガラなどが投棄される可能性があるため、地域として不安を感じている。(県有地払い下げの土地)
- 小見川中学校裏の競走馬厩舎からの悪臭について(風向きによって糞尿が臭い。開発にあたって、環境アセスメントの必要があったのではないか。)  
⇒確認をとりたい。また、規模的に環境アセスメントは不要かと思われる。
- 城山公園周辺のウォーキングロード・公園設備の整備、桜の木の整備をしてほしい。
- 阿玉台地区・貝塚地区の道路脇に雑草が繁茂してしまっているため、ポイ捨て、不法投棄が多い。草刈りの回数を増やすよう千葉県に要請してほしい。また刈った草については回収するが、ゴミについてはそのままにしているのでゴミについても回収するように要請してほしい。
- 空き家が多くなり、ハクビシンが住み着き、農作物等へ被害を及ぼしている。市から所有者や身内へ指導をしてほしい。

2) 震災以降の環境や生活の変化について

- 野田区では550世帯あり、独居老人の災害時の避難について問題となっている。また避難所について最新の情報等周知を行ってほしい。

3) 環境に関する市民協働について

- 小見川地区のシンボルは、黒部川と城山である。黒部川の美化等には、周辺住民の協働が必要であり、城山公園の美化活動についても、市民協働の一環として行ってはどうか。

4) 地域の活動の核となる人やグループについて

- 住金団地の方がグループ活動として、桜の植樹をしている。※団体名は非公開

5) その他

- 南地区の広大な市有地についての活用については、どうなったのか。  
⇒現状では、計画がたっていない。文化財が多くあることも問題となっている。
- 黒部川下流に溜まった川底の土の対応について、上流に土止めをつくるのはどうか。
- 長岡清掃工場の閉鎖は仕方がないが、利便性は確保してほしい。